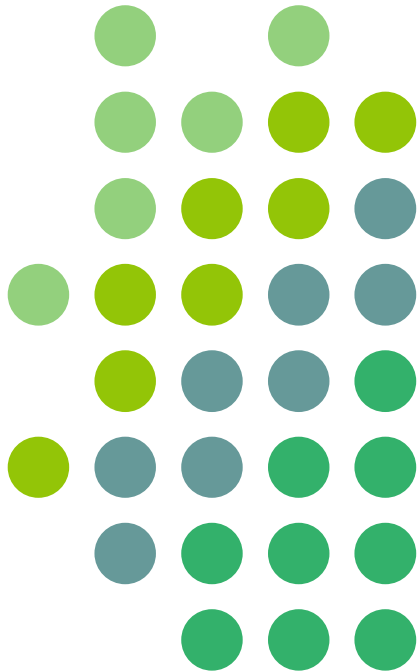


長野県産業振興機構広報誌

Escort

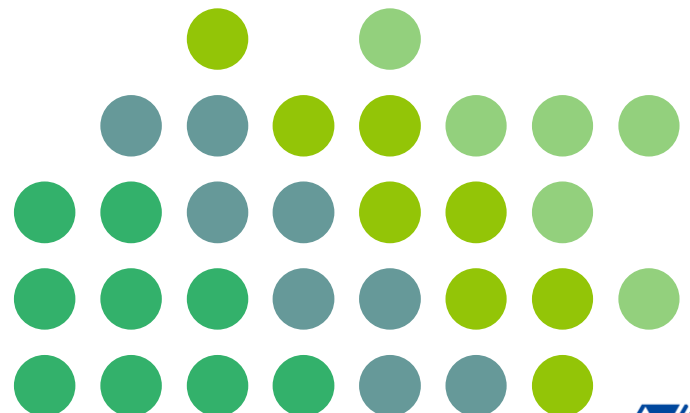
エスコート
June
2023

第2号



CONTENTS/目次

- P.1 ▶ **特集：きらりNICEな企業** ファミリー・サービス・エイコー株式会社
- P.3 ▶ NAGANO自動車部品産業サプライヤー支援拠点の紹介
- P.4 ▶ TOPICS：事業者様の取り組みをサポートした8事業の紹介
- P.8 ▶ コラム：「DXのすすめ」シリーズ2
- P.9 ▶ News: イベント・セミナーのご案内
- P.10 ▶ News: 事業紹介



NICEによる総合的な支援で迅速な商品開発に成功

ファミリー・サービス・エイコー株式会社

事業部：生協事業部
 アクア事業部
 設立：1976年（昭和51年）7月
 資本金：1億円（2022年9月現在）
 所在地：長野市居町43-1
 代表取締役社長：石田幸司 氏
 従業員：44名
<https://fs-eiko.co.jp/>



代表取締役社長 石田幸司 氏

2004年より健康・医療市場に参入

ファミリー・サービス・エイコー株式会社（石田幸司社長／長野市居町）は、生協事業、アクア事業を2本柱にその他複数の事業を展開しており、2021年に創業50年を迎えた。

基幹事業のうち生協事業では、靴下等衣料商品や日用雑貨を1977年より全国の生活協同組合に提供している。アクア事業では、同社創業者が1987年にフィルター交換式家庭用浄水器を開発、販売を開始し、今でいうサブスクリプション・ビジネスを確立した。

そして、3つ目の柱とすべく2004年から取り組んできたのが、健康・医療機器のOEM/ODM事業である。これまでに磁気治療器、紫外線治療器、電気マッサージ器などを手がけ、2009年からはオーラルヘルスケア市場において、各専門家と連携しながらバラエティ豊かな口腔ケア製品を提供している。

事業案内



OEM/ODMで培ってきた強み

ODMは、生産だけを受けるOEMより一歩踏み込み、開発・設計も担う受託形態である。ファミリー・サービス・エイコーは、生協事業やアクア事業で長らくその経験を積んでいる。ゆえに商品企画力、ものづくりの多分野にわたるノウハウを備え、高品質で価格競争力もあるサプライチェーンを確立し、生協等の強力な販売ネットワークも有する。こうした「仕組み」を自社のケイパビリティとし、お客様のニーズすなわち夢に応え続けるのが同社の存在意義である。

救急隊用の副木を開発、商品化

健康・医療機器市場への挑戦は家庭用から始まり、医家向けにまで進んだ。そのひとつが真空成形型式副木である。

以前から同社は産学官連携に積極的に取り組み、オーラルケア製品の介護現場への展開等で長野県テクノ財団（長野県産業振興機構の前身）からも支援を受けていた。同社の健康・医療機器市場でのOEMの強みや、エア式製品技術の高さを知る長野県産業振興機構（NICE）の医工連携コーディネーターがそのオファーをしたのは、2021年10月のことだった。

骨折した部分を固定する従来の真空成形型式副木は欧米式で、サイズが大きく日本人の体型に合わないなど使用する現場では様々な課題を抱えていた。同年10月22日、北アルプス広域消防本部において、NICEが企画した救急現場のシミュレーション訓練見学会に参加、救急救命士から提起された課題解決ニーズと同社をNICEの医工連携プロジェクトマネージャーがマッチングした。目指すべき副木の開発テーマは、「傷病者の疼痛緩和と医療チーム（DMAT）・救急隊の被覆・固定措置の迅速化」だ。

すぐに従来品の構造確認をし、同年12月8日に1次試作、改善点を見出しては試作を繰り返し、2022年8月までに開発を完了した。その間、仕様検討や評価などは、NICEや信州大学、信州メディカル産業振興会の伴走支援を得ながら北アルプス広域消防本部の救急救命士とともに進めた。



真空成形型式副木「ボディフィックス・スプリント」

同社の真空成形型式副木「ボディフィックス・スプリント（BFS）」は、日本人（東洋人）の体型に合ったサイズ・フォルムで、柔らかな素材で軽量なことから取り扱い易く、創傷を伴う骨折でも同時に処置ができ、X線を透過するため搬送先ですぐに検査可能という特徴を持つ。使用部位に合わせた3サイズを用意し、さらにそれぞれに適合し迅速な処置が可能な滅菌ガーゼ（12層）もセットにした。BFSはすでに長野県内の主な消防本部に寄贈されるなど、県内の半数以上の救急隊に配備されている。



北アルプス広域消防本部にBFSを寄贈

NICEの伴走で役割分担が明確に

10ヵ月という短期間で商品化を遂げた要因には、同社が強みとする前述の「仕組み」があった。まず、第1回目の試作を迅速に行うなど、新しい価値を生み出すための試行がスピーディなこと、またその試行に応える協力工場との信頼関係もそうだ。

さらに今回のケースでは、NICEが伴走支援したことで医工連携がスムーズに進行した。イノベーションは、しかるべき者がしかるべき役割を果たさないと生まれない。救急現場の課題に使命感をもって正面から向き合い声を上げる存在、傷病者の受入側として製品を医療現場の立場から評価する存在、その声を形にする存在、それらをつなぎ各々の役割を明確にしたスキームを構築できたことが大きかった。

BFSについてNICEは販売面でも、県庁での記者会見の設定、日本臨床救急医学会併設の企業展示会や救急資器材展2023等への出展、販売を委託する日本船舶薬品とのマッチングも支援してきた。今後BFSは医療、福祉に限らずスポーツ業界への展開も期待される。さらに、医家向けではBFSの他にも気管挿管用枕も完成間近だ。

ファミリー・サービス・エイコーは、ものづくり携わりながら、「コトづくり」「ストーリーづくり」で既存製品と差別化を図り、新しい価値を創造する企業である。また、同社の製品は靴下もオーラルケア関連もすべて健康に資するものであり、同社のことを健康福祉価値創造企業とも呼べよう。今後も健康長寿をうたう長野県において、「スマート・ヘルス・イン・ナガノ」を事業コンセプトに次の商品に挑む。連携の重要性を強く知る同社は、「各分野のスペシャリストとのネットワークを持つNICEには今後も期待するところが大きい」と語る。



記者会見場でのBFS装着実演（県庁にて）

活用した支援制度等

- [医療機器分野のコーディネート支援](#)
- [成長産業支援補助金（医療機器開発等支援事業補助金）](#)
- [新技術等共同研究開発事業](#)
- [（旧ものづくり研究開発事業） <長野市>](#)
- [長野県医工連携ポータルサイト展示会](#)
- [薬事相談・保険収載相談](#)

◆お問い合わせ

次世代産業部 信州医療機器事業化開発センター
TEL：026-217-1634 FAX：026-226-8838
E-mail：med[at]nice-o.or.jp

NAGANO自動車部品産業サプライヤー支援拠点 「ミカタプロジェクト」始動！

内燃機関を動力源とする自動車からEVなどの次世代自動車分野への世界的なパラダイムシフトにあたり、NICEでは、県内の自動車サプライヤーが抱える様々な課題に対し、相談対応や専門家派遣などにより支援する事業を、令和5年4月から開始しました。

国では、自動車の電動化進展に伴い需要が減少するエンジンや燃料タンク等の自動車部品を製造するサプライヤーに対し、「攻めの業態展開・事業再構築」実現を後押しすべく伴走型ハンズオン支援を行う「ミカタプロジェクト」（カーボンニュートラルに向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業）を令和4年6月から開始しています。これは、自動車産業集積地をはじめ全国に地域支援拠点を設置し、サプライヤーに対し脱炭素に向けた「見方」を示し、強力な「味方」としてサポートする経済産業省の委託事業です。

県でも、令和5年度からスタートした長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」で、新たなEV関連産業を創出し、「EV関連産業クラスター」を形成するとしており、「長野県産業振興プラン」においても、電動モビリティ関連産業創出プロジェクトを推進するとしています。

このような国や県の動きに合わせ、NICEでも経済産業省の委託を受け、ミカタプロジェクトの長野県の地域支援拠点として「NAGANO自動車部品産業サプライヤー支援拠点」を設置して支援をスタートしました。

今年度、自動車分野の生産技術を専門とするプロジェクトマネージャーを新たに配置し、相談窓口を開設しました。このプロジェクトマネージャーが訪問やWebなどによる相談を通じて、すでに自動車部品産業に参入する事業者様には、製造現場を見ながら現在の課題を抽出する支援を行うほか、新たに自動車分野への展開を図ろうとする事業者様には、これまで培ってこられた基盤技術や製品の展開の可能性を検討しながら、国の自動車分野の技術や経営などに精通する登録専門家の中から必要に応じて様々な分野の専門家を派遣し（5回まで無料）課題の解決に向けて支援してまいります。



研究会の様子

昨年度立ち上げた「**環境品質モビリティ研究会**」は、改めてミカタプロジェクトの取組として位置付け、カーボンニュートラルに向けたCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）やMaaS（サービスとしての移動）などをテーマとするセミナーを年間6回程度開催し、次世代モビリティに関する最新動向をお伝えしていきます。さらに、EVに実際に取り付けられているモーターやギア、インバーター、バッテリーなどがどのようなものなのか、実際に手に取って確かめることができる実地研修の開催も予定しています。

環境品質モビリティ研究会へご参加いただくか、電話や電子メールでお問い合わせください。従来からの自動車関連部品製造事業者様も、EVシフトをチャンスと捉え、電気・電子部品の製造を得意とする県内事業者様の新たな参入もご支援します。

地域支援拠点	
➤ 北海道機械工業会（北海道）	
➤ いわて産業振興センター（岩手県）	
➤ みやぎ産業振興機構（宮城県）	
➤ 栃木県産業振興センター（栃木県）	
➤ 群馬県産業支援機構（群馬県）	
➤ 埼玉県産業振興公社（埼玉県）	
➤ 浜松地域イノベーション推進機構（静岡県）	
➤ 神奈川産業振興センター（神奈川県）	
➤ 長野県産業振興機構（長野県）	
➤ 中部産業連盟（愛知県、岐阜県、三重県）	
➤ 京都高度技術研究所（京都府）	
➤ 岡山県産業振興財団（岡山県）	
➤ ひろしま産業振興機構（広島県）	
➤ 福岡県中小企業振興センター、北九州産業学術推進機構（九州地方全体）	
全国支援拠点	
➤ 中小企業基盤整備機構の地域本部	

【出所】経済産業省資料（2023年）

ご相談・
お問い合わせ



企画連携部 担当：プロジェクトマネージャー 依田、AC 小林（満）
TEL：026-227-5803 E-mail：renkei[at]nice-o.or.jp
<https://www.nice-o.or.jp/info/info-37345/>

1 海外医療機器メーカー等への技術PR・販路開拓支援

信州医療機器事業化開発センター

アラブ首長国連邦ドバイ市で開催された医療機器関連の国際展示会Arab Health2023（会期：令和5年1月30日～2月2日）に、信州大学との共催によりNICEとして初めて長野県パビリオンを出展しました。パビリオン内では、県内企業2社が製品や技術力をアピールし、販路開拓支援や新たな製品開発につながるための商談等を行いました。

Arab Healthは、ドイツ連邦共和国デュッセルドルフで開催されるMEDICA、COMPAMEDと並ぶ世界有数の医療機器関連の展示商談会です。支援した企業2社のブースには、世界中から途切れることなく多くの人々が訪れ、商談等で賑わいました。世界的に新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ始めた時期でもあり、展示会全体としても、来場者63,599人、出展企業・団体等3,358社（主催者発表）と非常に活気があり、旺盛な購買意欲により商談が盛んに行われました。

<出展支援企業2社>

- ・シナノケンシ株式会社（出展製品：小型高圧プロア）
- ・株式会社ナイツ（出展製品：双眼ルーペ、スポットイルミネーター等）

信州医療機器事業化開発センターのページはこちらから

<https://www.tech-smdc.org/>



長野県パビリオンの様子
手前：(株)ナイツの展示
左奥：シナノケンシ(株)の展示

お問い合わせ

TEL：026-217-1634 FAX：026-226-8838 E-mail：med [at] nice-o.or.jp

2 初のドイツ展示会「ハノーバーメッセ2023」出展支援

マーケティング支援部

ドイツで開催された、世界最大級の製造業のための国際展示会「[ハノーバーメッセ 2023](#)」（会期：令和5年4月17日～4月21日）に初めて長野県パビリオンを設置し、グローバル展開推進員が現地で出展支援を行いました。出展企業数4,000社、来場者数13万人の巨大な展示会であり、長野県からは5G 電波改善技術、特殊モータ、高性能ヒートシンク、VRシステムの中小企業4社が出展しました。日本からの自治体出展は長野県のみだったため注目度が高く、会期中にはハンブルグ総領事、駐ドイツ日本大使、YouTuberものづくり太郎氏の訪問、IT系ニュースサイトの取材やジェットロイイベントにて長野県出展企業2社がプレゼンを行う等の活発な技術アピール、商談が行われました。

長野県出展企業は会期中商談件数52件、成約見込み案件もあり4社とも今回出展して良かったとの反応で、初めての欧州展示会としては大きな感触を得ることができました。

本年度12月に開催される自動車関連のドイツ展示会出展に向けてノウハウ等の情報を得ることができた有益な展示会でした。

ハノーバーメッセ2023 長野県出展企業情報ははこちらから

<https://www.nice-o.or.jp/info/info-36364/>



長野県パビリオンの様子

お問い合わせ

TEL：026-227-5013 FAX：026-228-2867 E-mail：kokusai [at] nice-o.or.jp

3 コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業 事業報告会映像を公開

ITバレー推進部

ITバレー推進部が事務局となっている[信州ITバレー推進協議会（NIT）](#)と長野県では、「コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業」を実施しています。この事業は、県内IT中小企業が、産学官連携コンソーシアムとの共創により、グローバル展開や新たな社会価値の創出や変革、地域課題の解決などが期待される革新的なITシステムを開発する取組に対し、補助金（補助率1/2以内、上限500万円）を交付して支援するものです。

令和4年度は12企業の取組を採択し、開発に取り組んできましたが、その成果報告会を令和5年3月22日に長野市内において開催しました。製造業、運輸、観光などさまざまな産業部門におけるデジタルによる変革を目指す取組について説明が行われるとともに、参加した企業間の交流を深め、新たなつながりを創出する機会となりました。

現在、[NITのwebサイト](#)において、この発表の様態を公開しています。採択者別に発表の動画を見られるようにしておりますので、県内IT企業による多様かつ挑戦的な取組を是非ご覧ください。

本事業は令和5年度も実施しており、7月中には採択者が決まる見込みです。また、年度末には報告会の開催も予定しております。

報告会の映像はこちらからご覧いただけます。

<https://nagano-it.jp/news/information/3324/>



事業報告会の様子

お問い合わせ

TEL : 026-217-1635 FAX : 026-226-8838 E-mail : it-valley [at] nice-o.or.jp

4 地域資源循環型複合材料研究会

グリーンイノベーションセンター

近年の脱炭素化の動きから、県内中小企業でも化石由来の樹脂の減量化や材料のリサイクルに対する関心が高まっています。そこでグリーンイノベーションセンターでは、環境意識の高い企業間取引に供する素材開発が重要であるという認識に立ち、地域特性の高い県産木質材料（間伐材）や食品残渣等を利活用し、「バイオ系樹脂等との複合化による低環境負荷材料の開発」及び「複合材料を循環型にする仕組み」の調査・研究を後押しする「地域資源循環型複合材料研究会」を令和4年8月に立ち上げました。

本研究会には、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の推進を目指す県内ものづくり企業など12社・団体のほか、信州大学繊維学部、工業技術総合センター及び市町村が参加しており、参加する個別プロジェクトが相互に交流することで新たなプロジェクト創生が期待されています。また、Matching HUB Hokuriku 2022展示会に出展し、北陸地域の大学・団体との繋がりもでき、活動の輪を少しずつ広げています。

グリーンイノベーションセンターの詳細はこちらから

<https://www.nice-o.or.jp/support/support-31688/>



出展ブースの様子

お問い合わせ

TEL : 026-217-1634 FAX : 026-226-8838 E-mail : green-innv [at] nice-o.or.jp

5 伊那中央病院メディカルシミュレーションセンター 見学・体験会開催

信州医療機器事業化開発センター

伊那中央病院メディカルシミュレーションセンター（iMSC）では基本的な診療・看護技術から高度な内視鏡手術・血管内治療等、最新鋭のシミュレーターを50種余り導入し、種々の医療技術の習得ができます。若手医療従事者等が医療現場での実践的な専門技術の履修、習得ができるセンターの見学・体験会を令和5年3月8日に開催しました。この見学・体験会では、県内企業等から19名が参加し、伊那中央病院の本郷院長や信州大学医学部の清水教授、伊那中央病院iMSCの高砂センター長から、医療現場の視点での医工連携への期待や医療現場ニーズについてお聞きし、また、実際の施設見学や模擬臓器等を使用した手術手技体験をすることで、医療現場の新たなニーズの探索を行いました。

<主な講演内容>

- ・講演①「医工連携と企業様への期待」伊那中央病院 院長 本郷一博 氏
- ・講演②「肺癌外科治療のパラダイムシフト、医療機器の発展がもたらしたもの！」
信州大学医学部外科学教室呼吸器外科学分野 教授 清水公裕 氏
- ・メディカルシミュレーションセンター（iMSC）の紹介
伊那中央病院iMSCセンター長 高砂敬一郎 氏

信州医療機器事業化開発センターのページはこちら

<https://www.tech-smdc.org/>



医療シミュレーション用肝臓
モデルによる手術手技体験

お問い合わせ

TEL : 026-217-1634 FAX : 026-226-8838 E-mail : med [at] nice-o.or.jp

6 「スーパーマーケット・トレードショー2023」出展支援

マーケティング支援部

令和5年2月15日～17日幕張メッセにおいて開催された国内最大規模の食品見本市である「スーパーマーケット・トレードショー2023」に長野県パビリオンを設置し、全国展開を目指す長野県内の食品製造業等30社の出展支援を行いました。

会期中は各社の出展ブースに加え、新たな試みとして特設ブース（信州ガレットと長野県食材のマリアージュ）を設け、**おいしい信州ふーど公使のNAHO（太田奈穂）氏**により出展商品をふんだんに使用した「そばガレット」の調理実演を行い、長野県食材のおいしさをPRしました。コロナ禍で減少していた会期中の来場者数は6万人まで回復し、試食を伴った対面での商談が活発に行われ、会期中に903件の商談が行われ14件の成約を得ました。併せて、香港で食品の卸売業を営むバイヤーを会期中に招待し、事前にマッチングを図った県内事業者と個別商談を実施しました。

スーパーマーケット・トレードショー出展支援事業は、国内市場に加え海外展開にも挑戦できる事業として本年度も出展します。



長野県パビリオンの様子



信州ガレットと長野県食材のマリアージュの様子

おいしい信州ふーど公使NAHO氏（右）

長野県出展企業情報はここから

<https://www.nice-o.or.jp/info/info-32011>



お問い合わせ

TEL : 026-235-7246 FAX : 026-235-7387 E-mail : hanro [at] nice-o.or.jp

7 「自動車産業動向セミナー」を開催

伊那センター

加速する自動車の電動化を受けて、内燃機関の主要部品（エンジン、トランスミッション等）の需要減少が見込まれています。電動化自動車の市場拡大に伴い、県内企業が今後進めるべき研究開発のヒントとするため、最新のパワーエレクトロニクス技術や次世代自動車に求められる要求技術動向を紹介するセミナーを令和5年2月20日に開催しました。

セミナーでは、自動車産業に造詣が深い名古屋大学パワーエレクトロニクス研究室の山本教授から、日米欧中韓の各電気自動車のパワーエレクトロニクス機器の分解解析事例を中心に、近年、競争が激化しているインバーターや駆動機構部を統合した「イーアクスル」と呼ばれる機電一体モジュールなどの最新事例が紹介され、県内企業には、筐体の精密加工技術や電子デバイスの開発への期待を示されていました。また、県内に主力拠点を置くKOA(株)と富士電機(株)から、電動化自動車に対応した抵抗器のトレンドやパワー半導体モジュールの最新動向について講演いただきました。

会場とオンラインとのハイブリッドで開催したところ、全県から企業関係者90名の聴講があり、設計、技術的な協業の可能性など活発な意見交換が行われました。

今後も電動化自動車部品の製造に挑戦しようとする企業に、「[環境品質モビリティ研究会](#)」などを通じて最新の電動化技術に関する情報提供をしてまいります。



セミナー会場の様子

詳細はこちらから <https://www.nice-o.or.jp/info/info-32745/>



お問い合わせ

TEL : 0265-76-5668 FAX : 0265-73-9023 E-mail : nice-ina [at] nice-o.or.jp

8 「Go-Tech事業」に新たに4件採択！

グリーンイノベーション推進部、地域センター

この度、当機構が事業管理機関として応募した経済産業省の補助事業「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）（旧サポイン事業）」に、「カーボンニュートラル対応水素・燃料電池を用いたトライ・ジェネレーション・システムの製品化開発」など、新たに4件が採択され、これにより、当機構が事業管理機関として支援している令和5年度の研究開発は8件となります。

この事業は、中小企業が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う研究開発、試作品開発及び販路開拓への取組を最大3年間支援する事業で、事業採択により研究開発等に要する対象経費の3分の2以内（3年間合計で上限9,750万円）の補助金を受けることができます。

当機構では、事業管理機関としてGo-Tech事業の推進を支援するほか、補助金の申請に当たっては、グリーンイノベーション推進部や地域センターのコーディネーターが、事業計画のブラッシュアップや申請書作成などの支援を行っていますので、お気軽にご相談ください。



令和5年度に採択された案件の詳細はこちらから

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/r5fy_go-tech_saitaku1.html

研究開発計画名	主たる中小企業者
水素社会に向けた高リサイクル・高強度・耐水素脆性結晶微細化ステンレス棒材の小規模高効率生産技術の開発	(株)小松精機工作所 (諏訪市)
大口径(300mm)ウエハに対応した高耐熱性めっき技術の開発	大和電機工業(株) (諏訪郡下諏訪町)
ミリ波レーダとGPS/INS技術の融合により実現する山岳物資輸送用無人ヘリの開発	(株)クエストコーポレーション (小布施町)
農業土壌の即時分析評価技術の研究開発	(株)Henry Monitor (諏訪市)
New! カーボンニュートラル対応水素・燃料電池を用いたトライ・ジェネレーション・システムの製品化開発	マイクロコントロールシステム(株) (佐久市)
New! 微細TGV（ガラス貫通孔付き）のインターポザーの研究開発	(株)ニチワ工業 (茅野市)
New! 超精密転写・切断・形状修正による高精度強湾曲X線ミラー製造プロセスの開発	夏目光学(株) (飯田市)
New! アモルファス合金箔の高耐久プレス金型及びプレス技術の研究開発	ナカムラマジック(株) (上伊那郡箕輪町)

お問い合わせ

TEL : 026-217-1634 FAX : 026-226-8838 E-mail : shinsangyo [at] nice-o.or.jp

DXのすすめ

シリーズ 2

ITバレー推進部 産業DXコーディネーター 西村 元男

情報処理安全確保支援士、IoTプロフェッショナル・マイクロソフト認定技術者、安曇野市スマート自治体推進アドバイザー、[デジタルデマンド株式会社](#)代表取締役企業等のデジタル化、DX等を支援しています。

このコラムでは、DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは何か、メリットや進め方等を複数回に分けてご紹介しています。

[前回ご紹介したDXの内容](#)について、要点をまとめたのが次の表です。

前回コラムの要点	
DXの意味	デジタル技術を活用した、何らかの変革
DXの目的	生産性向上や製品・サービスの付加価値向上の結果、他社との競争優位につなげる
つまり、DXとは	デジタル技術を活用して、生産性向上や製品・サービスの付加価値向上を行うこと
DXの進め方	① 事業ドメイン分析により、新たな事業価値を見出す ② 新たな事業価値を自社のDXの目的（目指す姿）として捉える ③ 目指す姿を実現するための施策を検討し、実施する

※DXの進め方は「製造分野DX推進ステップ例」（独立行政法人情報処理推進機構）を基に記述

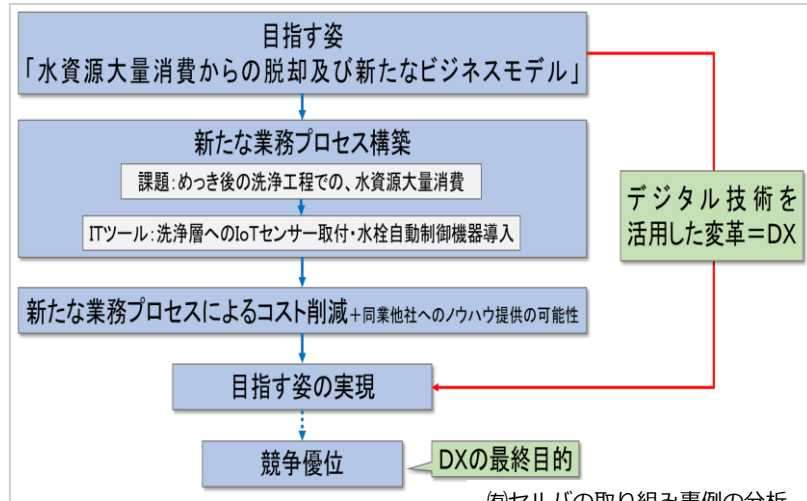
具体的な事例のひとつとして、県内の企業の取組をご紹介します。(有)セルバ（岡谷市、めっき・表面処理事業）では、めっきの洗浄工程において大量の水を消費する従来のやり方から脱却し、環境負荷の小さい新たなビジネスモデルを目指すことを計画しました（DXの進め方①及び②に相当）。

目指す姿の実現のためには、従来は一定量流し続けていた洗浄水を何らかの方法で制御し、汚濁度等に応じた適量に抑える必要があります。同社は、県内のIT事業者と共に開発・導入した「IoTを活用した水栓自動制御機器」によって環境負荷の小さい新たな業務プロセスを構築しました（NICEのコーディネーターが課題整理・IT事業者紹介等で支援し、県の補助事業も活用して実施）。

DXの進め方として、アナログデータのデジタル化→業務プロセスのデジタル化→全社横断的な業務プロセスのデジタル化といった流れで進めるよりも、この事例のように目的を定めてから施策に落とし込んでいく方が、すっきりするのではないのでしょうか。

取り得る施策のパターンとしては、この事例の「新たな業務プロセス構築」のほか、前回コラムで挙げた「新たな製品価値創出」、「新たなサービス創出」があり、目的によってどのパターンになるかは、大体決まってきます。

このように、必ずしも現場のデジタル化から始めなければならない、ということはありませんので、ぜひ顧客本位の新たな経営施策（そして、競争優位）の一環として、コラムでご紹介したDXの考え方（フレームワーク）を活用していただければと思います。



ご相談・お問い合わせ

☎ 026-217-1635 ✉ [dx\[at\]nice-o.or.jp](mailto:dx[at]nice-o.or.jp)

<https://dx.nice-o.or.jp/form>



デジタルによる業務の革新・改善
産業DXコーディネーターにご相談ください



イベント・セミナーピックアップ

■「第1回グローバルマーケティングセミナー」参加者募集

県内企業経営者2名が、わが社の海外展開戦略をテーマに講演します。

- ・期日 令和5年7月25日(火)
- ・会場 テクノプラザおかや 2階 IT支援室
- ・定員 50名
- ・締切 7月14日(金)
- ・詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-40293/>

■「制御・IoT初級コース」参加者募集

デジタル人材育成の一環として、プログラム言語「Python」の入門講座を開催します。

- ・期日 令和5年8月23日(水)から5回シリーズ
- ・定員 20名
- ・締切 8月初旬
- ・詳細 7月下旬にHPにて募集開始

■「産学官連携交流会in松本」参加者募集

“産学官連携”の意義や価値を再確認し、それぞれが成長できる場としてご活用ください。

- ・期日 令和5年10月12日(木)
- ・会場 松本市Mウイング(会場開催+オンライン)
- ・定員 会場100名・オンライン100名
- ・締切 9月下旬
- ・詳細 8月上旬にHPにて募集開始

■「企業紹介フライヤー(日・英語版)作成講座2023<基礎編>」参加者募集

A4サイズのフライヤーを日・英語で作成します。英語レベル:中級程度

- ・期日 令和5年10/18(水)、11/22(水)、12/20(水)
- ・会場 長野県立図書館3階 研修室
- ・定員 5名
- ・締切 10月初旬
- ・詳細 9月中旬にHPにて募集開始

■「信州発酵フードテック研究会キックオフセミナー」参加者募集

伝統発酵食品における乳酸菌の効能や開発技術を紹介します!

- ・期日 令和5年7月25日(火)
- ・会場 長野県工業技術総合センター 4階 大会議室
- ・定員 30名
- ・締切 7月20日(木)
- ・詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-50725/>

■「おいしい信州フード発掘商談会 in 東京」出展者募集

東京都内で展示商談会を開催し、食品等の仕入れ業者と商談し販路開拓拡大を目指します。

- ・期日 令和5年9月21日(木)
- ・会場 池袋・サンシャインシティ 展示ホールD-1②
- ・締切 7月28日(金)
- ・詳細 <https://www.nice-o.or.jp/info/info-40444/>

■「制御・IoT中級コース」参加者募集

Raspberry Pi を用い、汎用の入出力機材を使ってのプログラミングの学習をします。

- ・期日 令和5年10月13日(金)から5回シリーズ
- ・定員 20名
- ・締切 10月初旬
- ・詳細 9月初旬にHPにて募集開始

■「医療機器開発人材育成プログラム」参加者募集

医療機器産業分野への参入・事業展開において必要な基礎知識をe-learningシステムにより体系的に学べます。

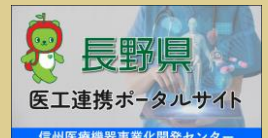
- ・履修期間 令和6年3月まで
- ・申請期間 令和5年11月1日(水)まで
- ・受講料 受講時間60時間の場合 60,000円
- ・詳細 <https://www.nice-o.or.jp/support/support-10286/>

最新のイベント・セミナー情報はこちらから <https://www.nice-o.or.jp/info/>

長野県医工連携ポータルサイト「カンファレンスパーク」出展募集中

病院の先生のニーズが聞ける医工連携セミナーへの参加、オンライン展示会への出展、医療機器メーカー等とのマッチングや個別面談等、無料でご利用いただけます。信州医療機器事業化開発センターが医工連携を総合的に支援するオンラインポータルサイト「カンファレンスパーク」をぜひご利用ください!

お問い合わせ 次世代産業部 信州医療機器事業化開発センター
TEL: 026-217-1634 FAX: 026-226-8838 E-mail: med [at] nice-o.or.jp
URL: <https://conference-park.jp/conference/46/top>



長野県よろず支援拠点にお問合せください！

売上拡大や経営改善等の経営課題の解決に向けて、一歩踏み込んだ専門的な提案を行います。

雇用・労務

売上拡大

IT活用

経営改善

債権保全・回収

販路開拓

技術相談

現場改善



相談して良かった！！
支援事例をご覧ください。

中小企業の経営者を
「一人にしない」
無料経営相談所

無料で何度でも相談！
ご予約は[こちら](#)から



専門家が経営の困り事の解決に向け、
真摯に寄り添います！

セミナー、各サテライトでの相談会も
多数開催しています！

売上を伸ばしたいな
経営を強化したいな

経営改善・
事業再生 22%

相談件数
9,589件
(R4年度)

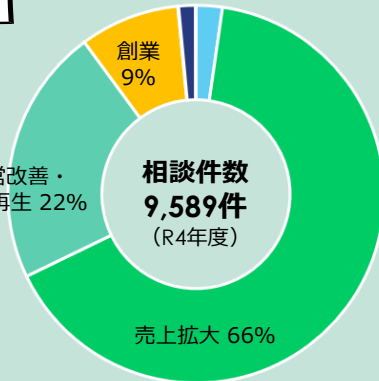
開催件数 (4~3月) 199回
参加人数 992人 (令和4年度)

[コーディネーター紹介](#)

[相談カレンダーを見る](#)

[伴走支援についてはこちらから](#)

[サテライトを調べる](#)



お問い合わせ よろず支援拠点

TEL : 026-227-5875 E-mail : info[at]nagano-yorozu.go.jp

URL : <https://nagano-yorozu.go.jp/>



テクノロジーチナガノ (Techno Reach Nagano) に登録を！

貴社の技術・製品（工業系）を国内外の発注企業に発信できる課題解決型ビジネスマッチングプラットフォームです。大手メーカーとの定期的な商談会への参加、営業効率・受注率の向上、発注企業への発信力向上にご活用ください。

長野県企業
(登録制：年会費(年度) 5,000円/社)

製品・技術情報の登録
展示会・商談会への出展

- ・テクノロジーチナガノ商談会 年2回開催
- ・大手メーカーとのプライベート展示会開催
- ・発注企業からの登録企業1社へのアクセス数
最大 年1,500件 (令和4年度実績)

商談

Techno Reach Nagano
(テクノロジーチナガノ)

(公財) 長野県産業振興機構



全体管理・サポート

発注企業

製品・技術情報の検索、閲覧、問合せ
展示会・商談会への参加

お問い合わせ マーケティング支援部

TEL : 026-227-5013 FAX : 026-228-2867 E-mail : treach [at] nice-o.or.jp

URL : <https://t-reach.nice-o.or.jp/>





長野県産業振興機構
NICE

公益財団法人長野県産業振興機構

Nagano Industrial and Commercial Encouragement Organization

設立/2022年4月1日(沿革:https://www.nice-o.or.jp/about_intro/)
(公財)長野県テクノ財団と(公財)長野県中小企業振興センターが合併
基金/66億円
目的/技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進するとともに、県内企業の経営革新及び経営基盤の強化等を支援し、県内産業の発展と地域経済の活性化に寄与する。

〒380-0928 長野市若里1-18-1 長野県工業技術総合センター3F
TEL.026-226-8101 FAX.026-226-8838 E-mail:nice@nice-o.or.jp
URL:<https://www.nice-o.or.jp/>

業務時間/午前8時30分から午後5時15分まで
土曜日、日曜日、年末年始(12月29日から1月3日)を除く。



- JR長野駅東口より徒歩25分、車で10分
- JR長野駅東口より長野電鉄バス日赤ゆき、北市または信大工学部前バス停より徒歩10分

ご相談窓口&お問い合わせ先

総務企画本部

総務管理部 TEL.026-226-8101
企画連携部 TEL.026-227-5803

新産業創出支援本部

次世代産業部 TEL.026-217-1634

- ・信州医療機器事業化開発センター
- ・航空機産業支援センター

飯田サテライト TEL.0265-49-8047

グリーンイノベーション推進部 (グリーンイノベーションセンター) TEL.026-217-1634

ITバレー推進部 TEL.026-217-1635

経営支援本部

経営支援部 TEL.026-227-5028

長野県よろず支援拠点 TEL.026-227-5875

マーケティング支援部 TEL.026-227-5013

消費財チーム TEL.026-235-7246

企業再生支援部 TEL.026-227-6235

(長野県中小企業活性化協議会)

事業承継・引継ぎ支援部 TEL.026-219-3825

(長野県事業承継・引継ぎ支援センター)

地域センター

長野センター (NICE長野)

〒380-0928
長野市若里1-18-1
長野県工業技術総合センター3F
TEL.026-225-6650
FAX.026-225-6711



- JR長野駅東口より徒歩25分、車で10分
- JR長野駅東口より長野電鉄バス日赤ゆき、北市または信大工学部前バス停より徒歩10分

諏訪センター (NICE諏訪)

〒392-8601
諏訪市上川1-1644-10
諏訪合同庁舎内
TEL.0266-53-6000
(内線2663、2664)
FAX.0266-57-0281



- JR上諏訪駅より徒歩25分、車で10分
- 中央自動車道諏訪ICより車で10分

上田センター (NICE上田)

〒386-8555
上田市材木町1-2-6
上田合同庁舎内
TEL.0268-23-6788
FAX.0268-23-6673



- しなの鉄道上田駅お城口より徒歩20分、車で5分
- 上信越自動車道上田ICより車で10分

伊那センター (NICE伊那)

〒399-4501
伊那市西箕輪2415-6
伊那技術形成センター内
TEL.0265-76-5668
FAX.0265-73-9023



- 伊那インター工業団地北端
- 中央自動車道伊那ICより車で8分
- JR伊那市駅より車で15分

松本センター (NICE松本)

〒390-0852
松本市大字島立1020
松本合同庁舎内
TEL.0263-40-1780
FAX.0263-47-3380



- JR松本駅より徒歩30分、車で10分
- 長野自動車道松本ICより車で2分